

就学時から卒業後までを見通した 特別支援教育について

令和6年5月10日

調布市就学に関する説明会

本日の内容

- ・ はじめに
- 1 子どものことを知る
- 2 調布市の学びの場を知る
- 3 卒業後について知る
- ・ まとめ

はじめに

- 1 子どものことを知る
- 2 調布市の学びの場を知る

調布市における多様な学びの場

調布市立小学校・中学校

各教科の授業を通常の学級で受けながら一部障害に応じた特別な授業を受ける。

知的障害の固定学級を一部の小・中学校に設置。

通常の学級

LD・ADHD
高機能自閉症

通級指導学級 (第一小に設置)

・難聴
・言語障害

校内通級教室

(全小・中学校に設置)

・情緒障害
・発達障害
・学習障害
・注意欠陥多動性障害

特別支援学級

・知的障害

都立

特別支援学校

- ・小学部
- ・中学部
- ・高等部

特別支援学校

- ・知的障害
(調布特別支援学校)
- ・肢体不自由
(府中けやきの森学園)

自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害について

自閉症

円滑な人間関係ができない、周囲の人が考えていることの推測が苦手等の発達の違いが見られ、一部特別な指導を必要とする児童・生徒

情緒障害

主として心理的な要因による選択性かん黙（※）等があるもので、一部特別な指導を必要とする児童・生徒

学習障害（LD）

聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難があり、一部特別な指導を必要とする児童・生徒

注意欠陥多動性障害（ADHD）

年齢あるいは発達に不釣り合いな不注意や衝動性、多動性の状態等があり、一部特別な指導を必要とする児童・生徒

※選択性かん黙とは、心理的な要因により、特定の状況（例えば、家族や慣れた人以外の人に対して、あるいは家庭の外など）で音声や言葉を出せず、学業等に支障がある状態を言います。

出典：東京都の発達障害教育（東京都教育委員会）

自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害について

友達とのコミュニケーションがうまくとれない。

集団行動になじめない。

集中し続けることが難しい。

読む、書く、聞く、計算する等の中の特定の部分が極端に苦手である。



相手の立場になって考えることが難しい。

特定の物や順序にこだわってしまう。

新しいことや予定外のことがあると混乱してしまう。

知的障害について



ものごとの理解に時間がかかる。



自分で考えて行動に移すことが苦手。



動作がぎこちない。

知的障害について

知的障害の一般的特徴

1 認知能力上の障害

物事への理解や推測、思考、課題解決力の弱さがある。➡生活年齢より遅れ気味。

2 言語活用能力上の障害

話し言葉の理解や文字の読み書き等の操作・実用処理上に関して全般的な弱さがある。
➡生活の中での体験重視。

3 運動面の遅れ・感覚や知覚面の鈍さ



知的障害教育の基本

1 教育内容としての基本

・将来の生活に役立つことを中心に考える。

2 教育方法としての基本

・適応機能の向上をめざす。
・実際性や具体性を重視する。



生活単元学習「遠足に行こう」



個に応じた教材

3 卒業後について知る

調布市立小学校・中学校

通常の学級

LD・ADHD
高機能自閉症

通教指導学級 (第一小に設置)

- ・ 難聴
- ・ 言語障害

校内通教教室

- ・ 情緒障害
- ・ 発達障害

特別支援学級 ・ 知的障害

都立 特別支援学校

- ・ 小学部
- ・ 中学部
- ・ 高等部

- ・ 知的障害
(調布特別支援学校)
- ・ 肢体不自由
(府中けやきの森学園)

高等学校
(全日制、定時制、通信制)

特別支援学校高等部
(職能開発科)
(就業技術科)

特別支援学校高等部
(普通科)

進学

- ・ 大学
- ・ 専門学校
- ・ 障害者高等技術専門校
- ・ 職業能力開発校等

就労

一般就労
・ 障害者雇用枠
(障害者手帳)

福祉的就労
・ 就労移行支援事業所
・ 就労継続支援A型事業
・ 就労継続支援B型事業
・ 生活介護事業所

その他

- ・ 施設入所
- ・ 在宅等

高等学校・特別支援学校

多様な進路先

○高等学校

・都立

：チャレンジスクール（不登校）
エンカレッジスクール、定時制
通級による指導の開始

・私立

：様々

※内申書を必要としない高校も増えている



○都立特別支援学校

：肢体不自由、盲、ろう、病弱
知的障害（就業技術科、職能開発科、普通科）

※障害者手帳または医師の診断書が必要

都立高校で
通級による指導が始まります!

通級による指導とは？
本県の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について学習に合わせた特別の指導や個別指導を受けられる指導形態です。
県内21の小・中学校に、本県特別支援学校では、指導体制のある児童・生徒の学習の達成による進級が行われています。特別支援学校の進級による進級により、高等学校及び中等教育学校の普通課程に入学する機会も増え始めています。

このような教育的ニーズに応じて
生徒一人ひとりの可能性を高めます。

申し込みについて
●在籍校の先生に相談してください
●中学生の方は、入学後、高校の先生に相談してください

入学以前の問合せはこちら
東京都教育庁 都立学校教育部
特別支援教育課 発達障害支援推進科
TEL 03-5320-7838

寄り添ってくれる人がいる。
支えてくれる学校がある。

[対象者など詳細は要覧へ]

高等学校・大学

発達に課題のある生徒の入試での配慮例

○都立入試

問題用紙・解答用紙の拡大、英語リスニングテストでの座席の配置別室受受検、検査時間の延長、記号選択式での受検、ICT機器の使用、介助者の同行。中学校を通して申請する。

※高校は入学後のサポートが様々。学校の種類、普通校での配慮など

○大学入学共通テスト

別室、注意事項の文書による配布、拡大文字問題冊子、試験時間延長など。医師の診断書などを添えて申請する。

※相談室を設けている大学が増えている。

高等学校

★チャレンジスクールの特色★

- ・学力検査や中学校からの調査書によらず、生徒の学習や学校生活への意欲を重視した入試を行います。
- ・基礎・基本を重視した学習を行うとともに、総合学科の特性を生かし、職業系を含めいろいろな専門科目を設置しています。
- ・ボランティア活動などの体験的な活動を通じて、豊かな人間性を育成します。
- ・カウンセリングや教育相談の充実など、心のケアに配慮したきめ細かい指導を行います。

(チャレンジスクール一覧)

- 桐ヶ丘高校
- 世田谷泉高校
- 大江戸高校
- 六本木高校
- 穂ヶ丘高校
- 足立地区チャレンジスクール



桐ヶ丘高校：(左)「絵画」の授業の様子。(中央)「コンピュータグラフィックス」の授業の様子。
アート・商業・福祉等の系列を活かした様々な専門的な授業を体験的に学びます。

★エンカレッジスクールの特色★

高等学校

学校の特色	授業の特色	時間割の特色
<ul style="list-style-type: none"> ○学力検査によらない入試 ○二人の担任できめ細かな指導 ○試験の点数よりも努力を評価 	<ul style="list-style-type: none"> ○1年次には、集中できる30分授業により、基礎・基本を徹底 ○少人数制・習熟度別授業によるきめ細かく分かる授業 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアガイダンス ○選択授業 ○多彩な体験学習

〈エンカレッジスクール一覧〉

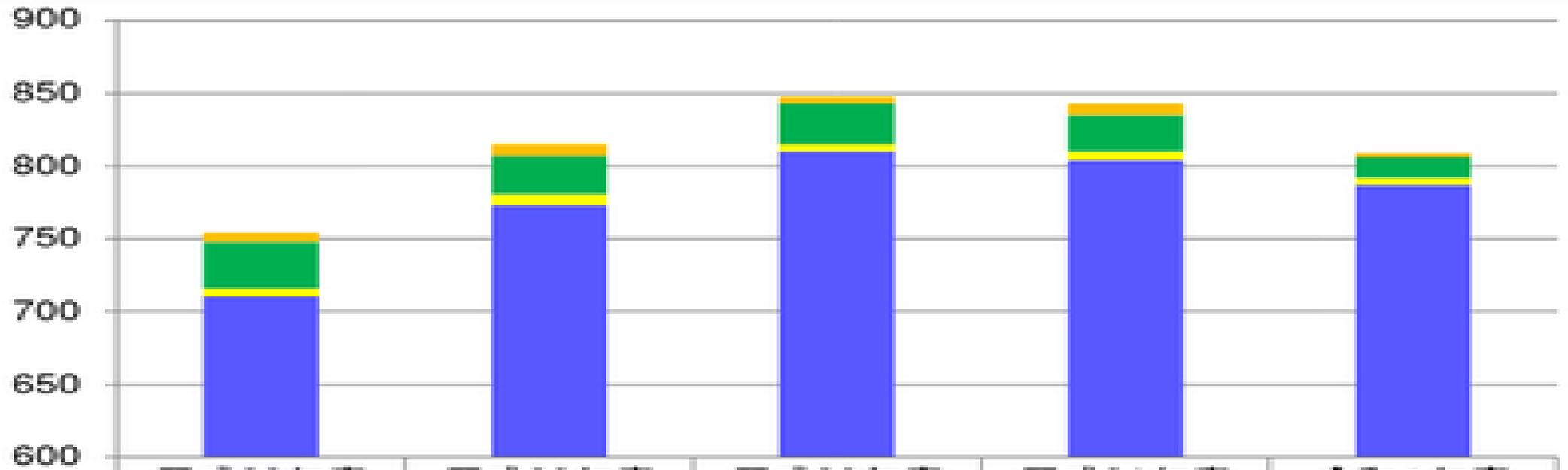
- 足立東高校
- 秋留台高校
- 練馬工業高校
- 蒲田高校
- 東村山高校
- 中野工業高校



東村山高校：(左) 進路ガイダンスの様子 (ペットトリマーの体験)
 (中央) 体験学習 (和太鼓) の様子
 (右) 授業の様子 (きめ細かな指導を行います。)

特別支援学校

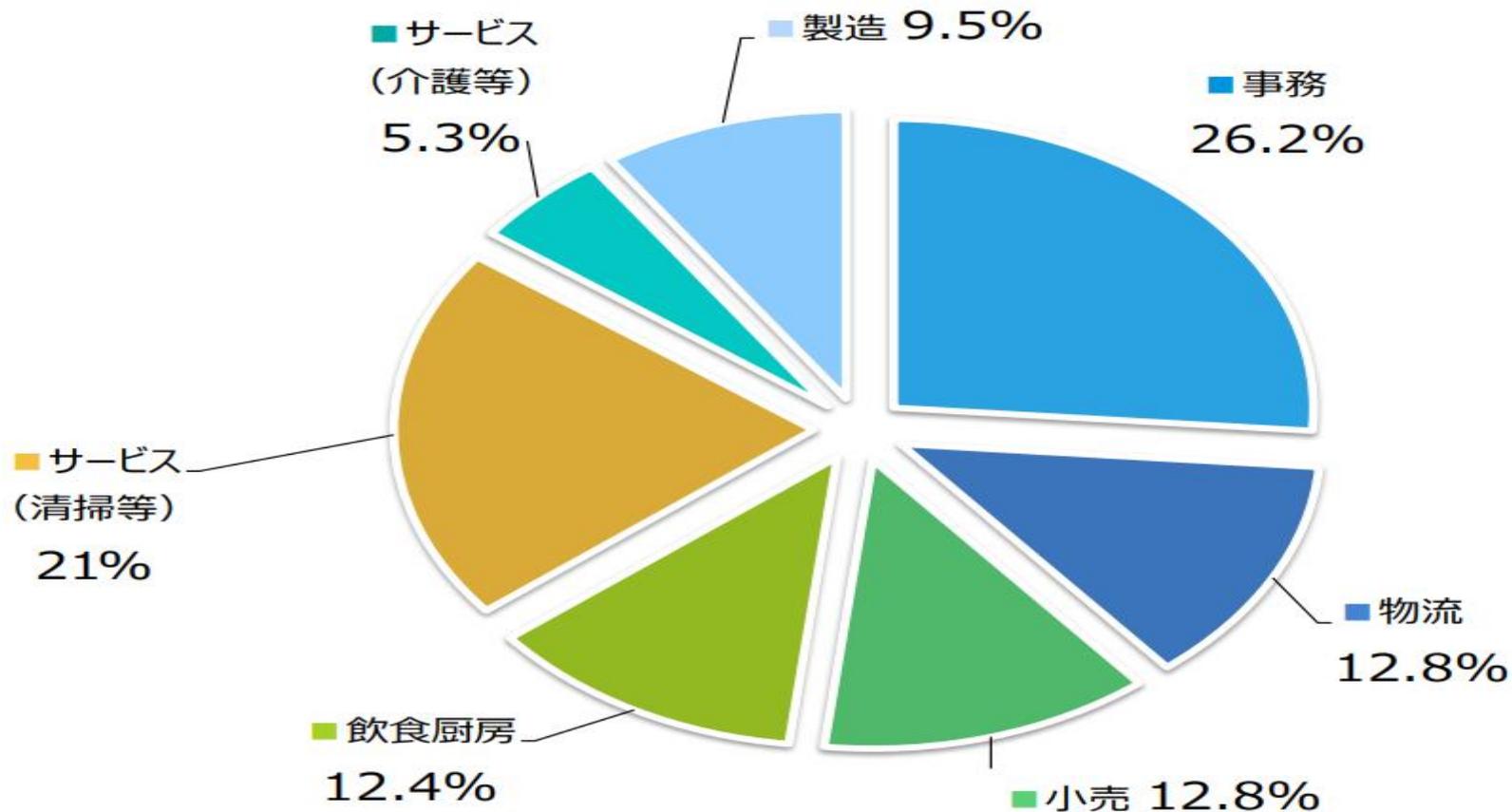
都立特別支援学校高等部 就労者数



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
視覚障害	6	8	5	8	3
聴覚障害	32	26	28	25	14
肢体不自由	6	8	5	6	5
知的障害	710	773	810	804	787

特別支援学校

令和2年度都立特別支援学校卒業生における就労先の職域の状況

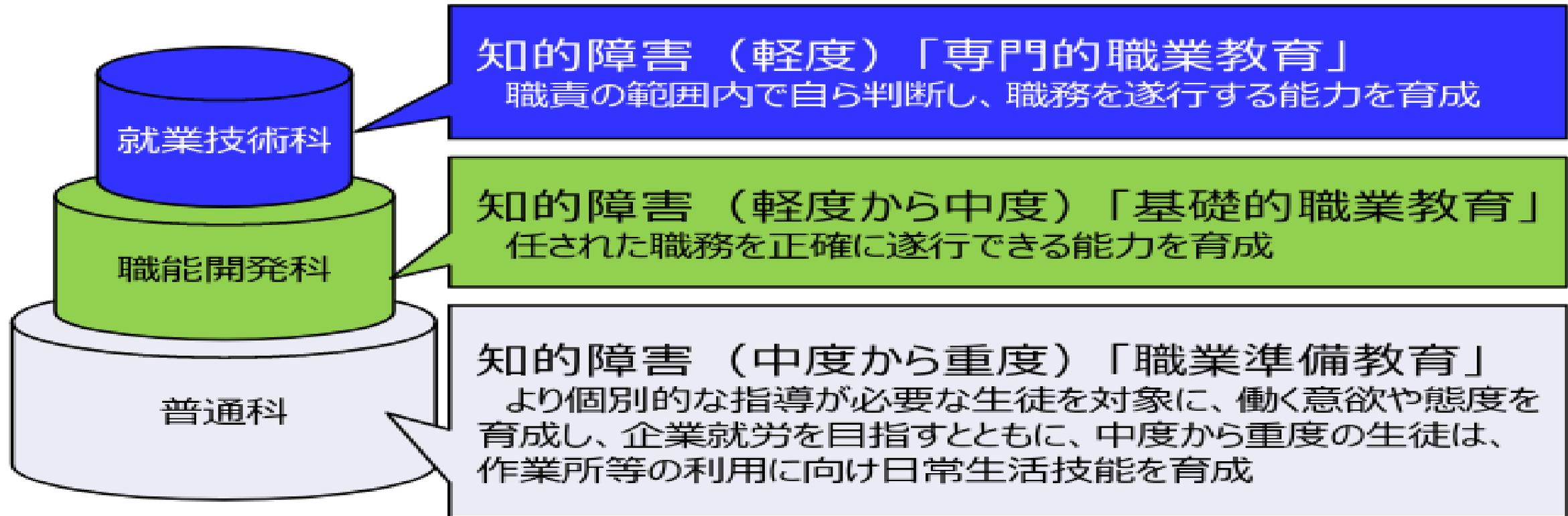


東京都特別支援教育推進室調査から

特別支援学校

都立知的障害特別支援学校における重層的な職業教育の展開

◎ 社会に参加・貢献できる人材の育成を目指します。



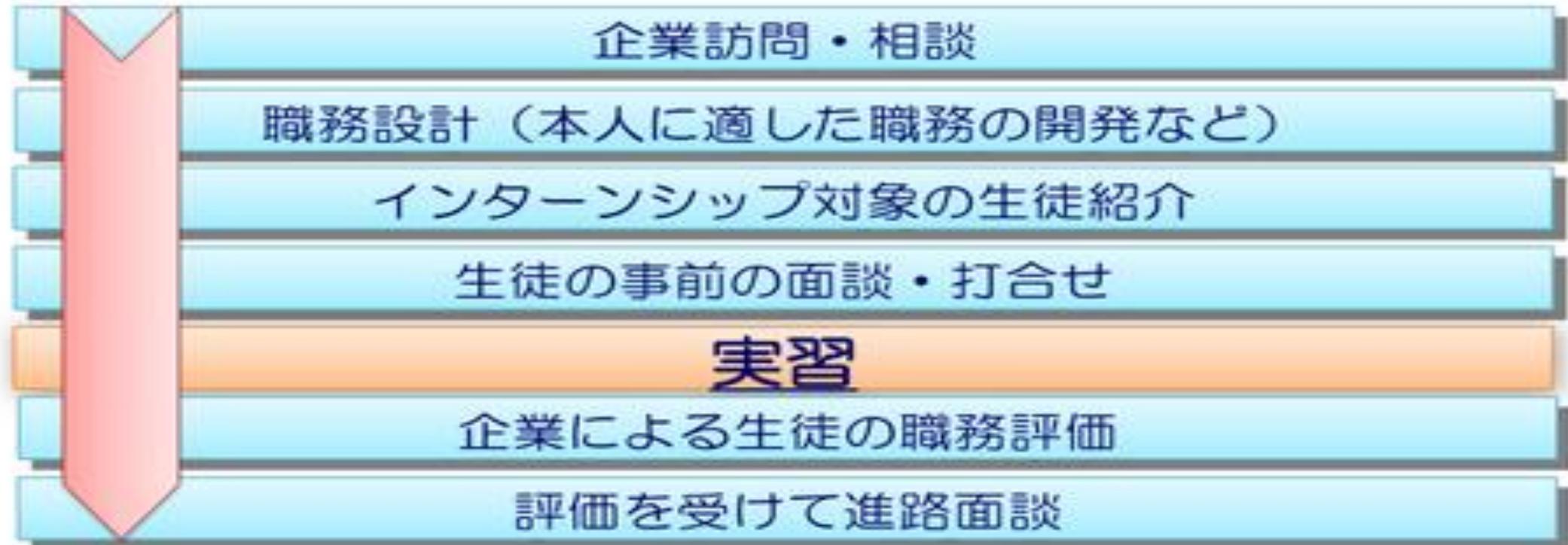
特別支援学校

産業現場等における実習（インターンシップ）の計画



特別支援学校

産業現場等における実習(インターンシップ)の流れ



特別支援学校

産業現場等における実習(インターンシップ)に向けた職務設計

職務の切り出し

定型的なパソコン入力
社内郵便物の仕分け、配達
社外郵便物の受取、投函
消耗品の補充
ダイレクトメールの封入・封緘
コピー機・プリンターの紙補充
会議資料の印刷
会議室の準備
書類のファイリング
書類電子化作業
廃棄書類の裁断 等

1日のスケジュール

時間	仕事内容
9:00~	ミーティング
9:10~	社内郵便の仕分け、配達
10:00~	パソコン入力
11:00~	コピー機・プリンターの紙補充
11:30~	会議室準備、会議資料の丁合
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~	社外郵便受取・仕分け
13:30~	書類のファイリング
14:30~	ダイレクトメール作成
16:00~	廃棄書類の裁断
16:30~	日報記入
17:00	退勤

特別支援学校（就業技術科・職能開発科）

1 就業技術科と職能開発科について

- 東京都立知的障害特別支援学校高等部には、普通科に加えて職業教育を主とする専門学科として「就業技術科」と「職能開発科」があります。

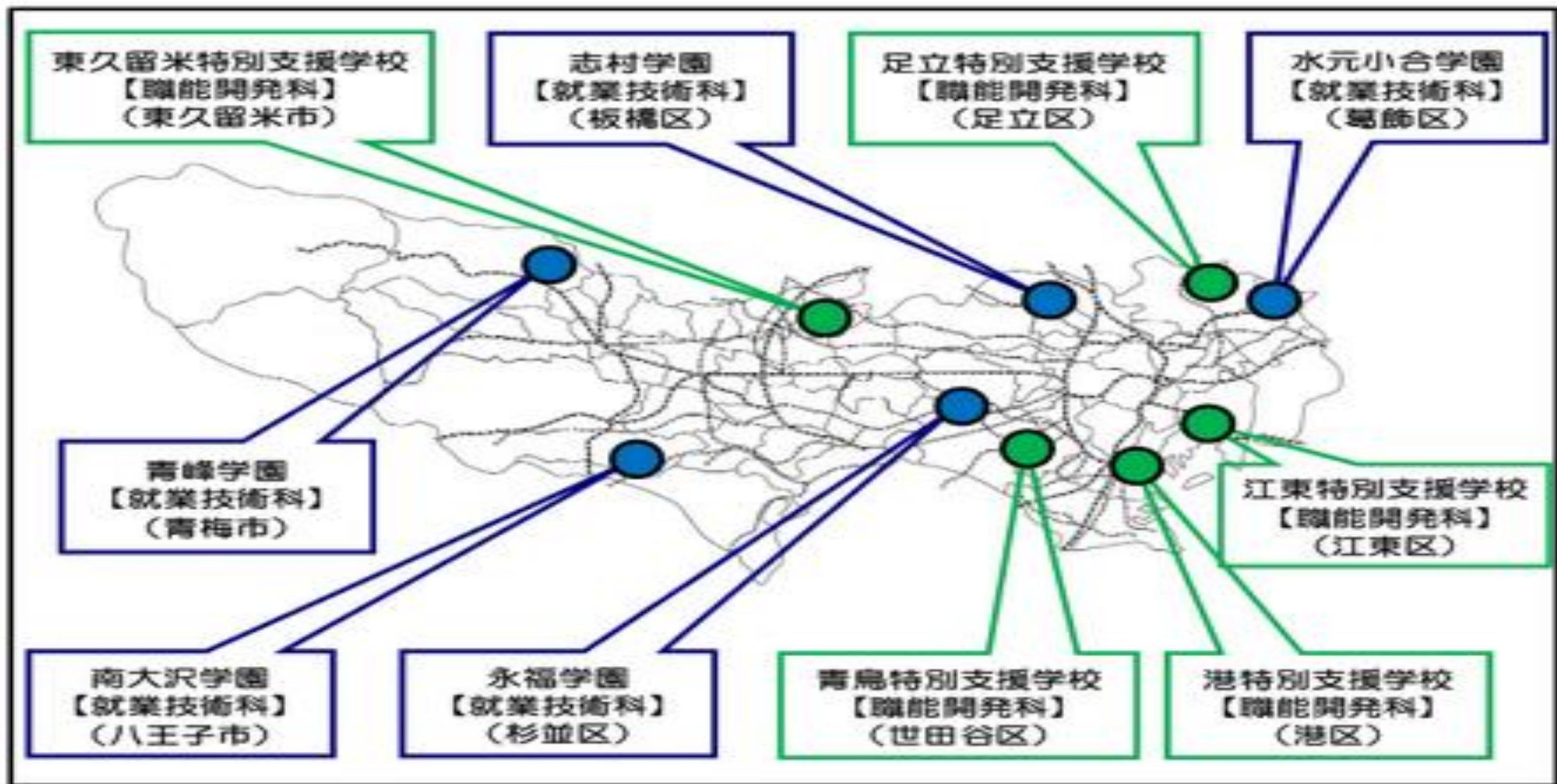
学科	就業技術科	職能開発科
共通点	【対象】 将来、企業への就労を目指す者 【学級編制】 1学級10名	
育成する力	習得した知識と技能及び就労先での経験を基に、職責の範囲内で自ら判断し、職務を遂行できる能力を育成します。	就労先で求められる知識と技能を習得し、任された職務を正確に遂行できる能力を育成します。

2 応募資格

- 就業技術科及び職能開発科の応募資格は以下のとおりです。

- ◆ 知的障害がある者
- ◆ 令和5年3月に中学部等を卒業する見込みの者又は卒業した者
- ◆ **就業技術科**及び**職能開発科**の教育方針の下、学校生活を有意義に過ごすことができ、将来、企業への就労を目指す者
- ◆ 志願する**就業技術科**設置校及び**職能開発科**設置校において**事前の個別の説明（以下、「個別説明」という。）**を受けた者
- ◆ 保護者と共に都内に住所を有する者（都外の者は入学日までに保護者と共に都内に転居する者）

特別支援学校（就業技術科・職能開発科）



特別支援学校（就業技術科）

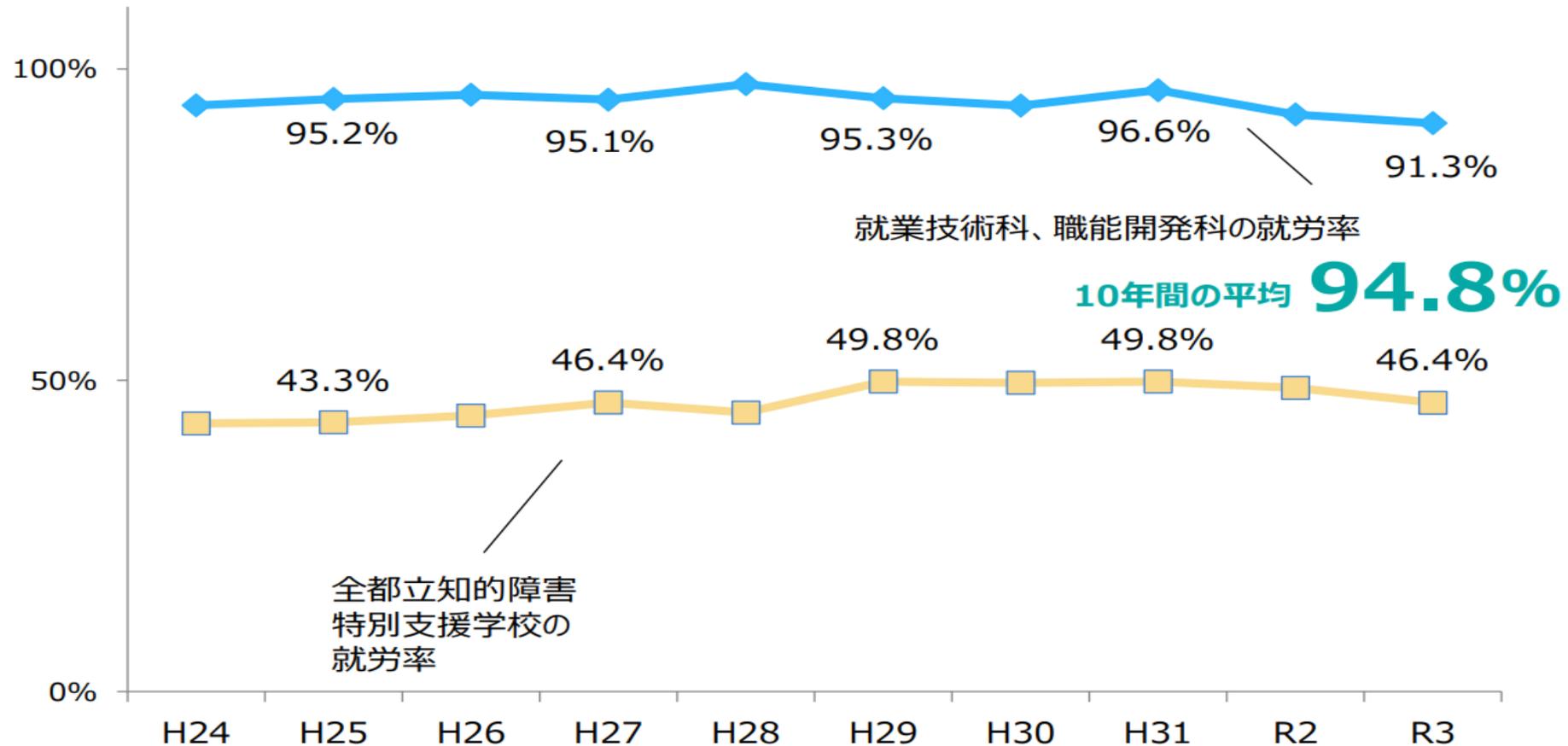
就業技術科 第1学年時間割（例）

	月	火	水	木	金
	HR	HR	HR	HR	HR
1	体育	職業に関する 教科	数学	職業に関する 教科	国語
2			理科		社会
3	美術		体育		職業
4			キャリアガイダンス		
給食					
5	国語	職業に関する 教科	家庭	職業に関する 教科	音楽
6	数学		LHR		情報
7	音楽		英語		
	HR	HR	HR	HR	HR

特別支援学校（就業技術科・職能開発科）

都立知的障害特別支援学校高等部

就業技術科・職能開発科における就労率の推移



就労先からの要望①

(学校中に身に付けておきたいこと)

- 良好な人間関係
- 感情のコントロール・特性の認知
(自立活動 心理的な安定)
- スピードはおそくても、集中してやり遂げる力
(着実にこれだけは任せられる)
- 自己表現力

就労先からの要望②

(学校中に身に付けておきたいこと)

- 可能な範囲でのことば・かず (使えることば・かずを学ぶ)
- 健康な生活習慣と清潔な身なり
(いつもきれいにしていることを習慣づける)
- 安全に配慮できる行動調整 助けを求める力
(小さい頃からの経験 支援者を複数名見つけておく)
- 毎日通える社会生活習慣 (毎日通える楽しく安心な学校など)
- 自分のことは自分でやろうとする主体性
(親や先生の手を離れていく)

まとめ